外部養生 鉄骨建て方に先行

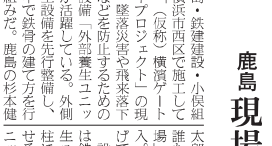
鹿島 現場主導で安全性強化

鹿島・鉄建建設・小保組誰もが働きやすい美しい現場を目指す一環として導入。外側の養生ユニットを完成させる＝写真。こうした養生後に、外周梁や内部側の鉄骨の建て方を進めることで、建物下部への風害落下リスクの低減や、作業員の落下事故防止などにつなげる。

鹿島と住友生命保険、三井住友海上火災保険の3社が建築主となり、みなとみらいスクエア・メーソルテン（MM）21地区に大規模複合ビルを建設するプロジェクト。S造地下1階地上21階建て延べ8万3800平方㍍の規模で、高層棟と低層棟で構成する。設計は鹿島が担当。

高層棟では原上部分の鉄骨建て方に入っており、外装・内装作業も進んでおり、小学校や首都高速などが隣接し、敷地内直下に地下鉄みなとみらい線が走るなど制約条件が厳しい中、「誰にでも分かりやすい見える安全管理を基本に三現主義を徹底し、風通しの良い現場運営を行っている」（杉本所長）。

最先端のDX（デジタルトランスフォーメーション）技術を取り入れ、施工効率化を図っている。工期は2021年9月まで。杉本所長は「こだわりや心遣いを持って、関係者みんなで一緒に造り上げていくことで、お客さまの心に響く建物を作りたい」と話している。



重点化事業の取り組み紹介

オリコンサルHD グループ各社で定例会

オリエンタルコンサルタンツホールディングス（HD）は、ウェブ会議形式で1日にグループ各社が対象の定例会を開いた＝写真。

オリエンタルコンサルタンツホールディングス（HD）傘下の建設コンサルタント会社、オリエンタルコンサルタンツ、エイテック（東京都渋谷区、橋義規社長）は、i-Con推進策による技術発表会をウェブ形式で11月10日に開いた。グループ各社から約150人が参加。現場の生産性向上に向け、複数業務で導入しているICT（情報通信技術）活用事例を共有した。

ICT活用事例共有 エイテック i-Con推進策が技術発表会

オリエンタルコンサルタンツホールディングス（東京都渋谷区、橋義規社長）は、エイテック（東京人機）を利用した点検技術も紹介した。国土交通省が取り組む建設現場の生産性向上施策i-Construction関連事業拡大につなげる目的で開いた。ICT土工の支援業務やドローン（小型無人機）を利用した点検技術も紹介した。プロジェクトの展開に対し、参加者は注力分野に設定する重点化事業の取り組みを情報共有する。2025年が目標の中期経営計画で、基本方針に掲げる事業創造・拡大や人材確保・育成の推進に向けた各社の社員が一致団結を誓った。

定例会は▽インフラ整備・保全▽防災▽交通▽地方創生▽海外新規開拓の五つの重点化事業を主眼にグループ各社の社員が5件の取り組み発表を行った。

通省が取り組む建設現場の生産性向上施策i-Construction関連事業拡大につなげる目的で開いた。ICT土工の支援業務やドローン（小型無人機）を利用した点検技術も紹介した。国土交通省が取り組む建設現場の生産性向上施策i-Construction関連事業拡大につなげる目的で開いた。ICT土工の支援業務やドローン（小型無人機）を利用した点検技術も紹介した。プロジェクトの展開に対し、参加者は活用事例を共有した。

技術発表会は、トンネル現場で展開するBIM／CIMの施工事例などを共有し